

出題の意図

問1

フィルターバブルとエコーチェンバーは、どちらもインターネット上のものであり、結果として生じる現象は重なり合う部分も多いが、両者が重きを置いている点の違いを踏まえ、それぞれの現象と問題点を正確に説明することができるかを問うものである。

フィルターバブルは、アルゴリズムの働きによって自分の思想等に合わせた情報ばかりが作為的に表示される現象であり、孤立化、ブラックボックス化、選択困難性などの問題点がある。エコーチェンバーは、自分と同じような意見ばかりが跳ね返ってくる現象であり、独立性の欠如、多様性の欠如、確証バイアスなどの問題点がある。

問2

認識バブルには、認識プロセスが働かなくなり、自己の信念の改訂がきわめて困難になるなどの問題点がある。筆者は、認識バブルの問題点を踏まえ、認識バブルに落ち込まないようするための方法として、知的公平さの徳を身に着けることが重要であると主張する。筆者の考えを簡潔にまとめることができるか、また、筆者の考えに対する自らの意見を論理的にわかりやすく、説得的に論じることができるかを問うものである。